

標 題 | 畜産のテーマで雲南管内ニューファーマー研修会を開催！

(ダイジェスト)

8月28日に行った雲南管内ニューファーマー研修会では、“畜産”に特化して研修を行いました。今回の研修では飯南町の若手畜産生産者と町内堆肥処理の視察、中山間地域研究センターの放牧地の見学、管内の畜産の課題についてグループワークを行いました。若手就農者にとって、グループワークでいろいろな意見に触れたり、普段の牛舎での悩みなどを相談し合ったりと、とてもいい機会になったと思います。

雲南管内では、以前から若手就農者を対象にニューファーマー研修を毎年行っています。

今回、8月28日に行った雲南管内ニューファーマー研修会では、“畜産”に特化して研修を行いました。この研修をとおり、雲南管内の畜産の新規就農者、青年農業者の知識の習得や技術の向上はもちろん、普段なかなか行えていない参加者間の交流を図ること目的とし、実施しました。当日は、雲南管内の認定新規就農者、雇用就農者、関係機関合わせて30名の参加がありました。

研修内容としては、①飯南町リース牛舎の視察と飯南町堆肥センターの視察、②中山間地域研究センターの放牧地の見学、③管内畜産の課題について情報提供とグループに分かれてワークを行いました。

ワークでは、普段の巡回指導で耳にする課題のうち、酪農家、和牛繁殖農家共通の課題である子牛育成管理について簡単な座学をしたのち、「離乳するときの理想の状態」「離乳する①タイミング②基準は？」についてグループで話し合い、グループごとに意見をまとめ、全体で共有しました。

普段、毎日の牛舎仕事でなかなか他の牧場の状態や放牧地を見る機会が少ないため、参加者は熱心に話を聞き、質問が飛びかかっていました。参加した雇用就農者の中には、将来「自分で牛を飼いたい」と思っている方も何人かいたため、グループワークでいろいろな意見に触れたり、普段の牛舎での悩みなどを相談し合ったりと、とてもいい機会になったと思います。



リース牛舎の視察



離乳の基準について話し合っています



グループの意見をまとめ、共有